

英語科学習指導案

授業者

指導者

1. 日時 令和7年 6月6日(金) 4時限目
2. 対象 37名
3. 場所 教室
4. 単元名 「Program 3 タレントショーを開こう」
5. 教科書 Sunshine English Course 1 開隆堂

6. 教材観

本題材では、可能の意味を持つ「can」と「何を～できますか。」という文で使われる「what」を学習する。「can」を学習することで、身近な行動に対する「できる・できない」の表現をすることができるようになる。そのため、英語での基本的なやりとりをする力を育てるのに適した教材である。「what」は自分の知りたいことを尋ね相手のことを知ることができる表現である。そのため、英語でもやり取りをするのに重要な疑問詞である。また、「What can you do?」という相手に尋ねる表現を学習することで英語でのコミュニケーションの幅を広げることができる。

小学校での外国語活動や外国語科において、「I can swim./I can't swim.」や「I can run./I can't run.」、「What do you like?」「What is this?」などの短い表現に親しんでいる生徒が多く、ある程度の既習感がある。しかし、疑問詞と助動詞が一緒に使われている文は初めての学習となる。

これらの文法事項が日常生活でどのように使われるのかを考えながら、自分の特技を話したり相手に尋ねたりする方法を学んでいく。

7. 生徒観

本学級には、授業に対して前向きな姿勢を持って取り組む生徒が多く、正解・不正解にとらわれず積極的に発言や活動に取り組む様子が見られる。特に、発音に対して興味があり英語を話す活動を楽しんでいる点が印象的である。また、間違えたときにもそのまま終わるのではなく、自らの答えに対して疑問を持ち、学びを深めようとする姿勢がみられる。休み時間や授業では、ALTと積極的に英語でコミュニケーションを取ろうとする生徒も多く、英語で会話することを恐れず楽しんでいる様子が見られる。

8. 指導観

本題材では、助動詞「can」と疑問詞「what」を用いた表現を通して、自分の特技を伝えたり相手に尋ねたりする力を育成することを目指す。生徒たちは、間違いを恐れず積極的に英語での会話を楽しむ姿が見られる一方で、単語の音と文字を一致させることに苦手意識を持つ傾向があるため、英単語を見ながらの発話を通して語彙が身につくような活動を意識的に取り入れていく。

さらに、「What can you do?」のような疑問詞と助動詞が組み合わさった表現は初めて学ぶ内容であるため、視覚的な教材、繰り返しの練習を通して文構造に親しませながら、意味理解と定着を図る。自分の思いを英語で伝える楽しさや達成感を味わえるような授業を展開していきたい。

9. 単元目標

・ can と what の使い方を理解し、場面に応じて適切な文を作ることができる。

【知識及び技能】

・ 自分や他者のできることを伝えたり尋ねたりすることができる。

【思考力・判断力・表現力】

・ 自分の特技や友達のことに関心を持ち、英語で伝え合うことに前向きに取り組もうとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

10. 評価基準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
can と what の使い方を理解し、場面に応じて適切な表現を使いながら文を作ることができる。	can や what を使って自分や他者のできることを伝えたり尋ねたりしている。	英語で自分のことを伝えたり相手の話に関心を持ったりしながら積極的にコミュニケーションに取り組もうとしている。

1 1. 指導計画 (全5時間)

時	授業内容	評価規準、評価方法
第1時	Program 3 の目標を確認し、can の使い方を知る。(p.38~39)	【知識・技能】 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の発言、ワークシート
第2時 (本時)	can と what を使った尋ね方を知る。(p.38~39)	【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の発言、ワークシート、活動の様子
第3時	Part 1 (p.40)で使われている can の文法事項を学習し、問題を解く。Part 1(p.40)の本文の内容を日本語に訳しペアで読み合う。	【知識・技能】 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の発言、活動の様子
第4時	Part2(p.41)で使われている can と what の文法事項を学習し問題を解き、本文の内容を日本語に訳しペアで読み合う。	【知識・技能】 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の発言、活動の様子
第5時	理想のロボットを考え、何ができるのかを文にして紹介し合う。(p.42)	【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の発言、活動の様子

1 2. 本時の目標

○can と what を使って相手に尋ねる表現ができる。

【知識・技能】

○できることとできないことを相手に聞いたり伝えたりすることができる。

【思考力・判断力・表現力】

○can と what を使いながら積極的にコミュニケーションを取ろうとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

13. 本時の流れ

展開	指導の流れ	指導上の留意点	評価規準と評価の方法
導入 5分	<p>前回の振り返りをする。 本時の学習内容を説明する。</p>	<p>can の意味や使い方について触れる。</p>	
<p>can を使って相手ができることを尋ねよう。</p>			
展開① 10分	<p>○「得意料理は？」の動画を見させる。</p> <p>○New words を確認する。</p> <p>○「Can you~?」「What can you~?」の使い方を説明する。</p>	<p>can と what が出てくるところに注目するように伝える。</p> <p>音声が続いて発音した後に意味を確認する。</p>	
展開② 10分	<p>○ワークシートを配る。</p> <p>○音声を聞いて穴埋めをする。</p> <p>○答えを確認する。</p> <p>○リスニング practice を行う。</p> <p>○ビンゴカードを配る。</p>	<p>もらった人から名前を書くように指示する。</p> <p>板書はせず教科書を見ながら答えを確認する。</p>	
展開③ 15分	<p>○ルールを説明する。</p> <p>【ルール】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 相手に「Can you (ビンゴカードに埋めた単語)?」と尋ねる。 2. 相手が Yes, I can. と言ったらマスに○を書くことができる。 3. 相手が No, I can't. と言えばマスに丸を書くことはできない。 	<p>モニターに写しながら説明。</p> <p>全ビンゴして早く終わった人は時間が終わるまで友達に尋ねることができるということを伝える。</p>	

	<p>4. 相手が Yes, I can. と言った時だけ「What can you do?」と聞くことができる。</p> <p>5. 2つ目の質問に相手が答えた単語のマスに丸を付けることができる。</p> <p>6. 縦、横、ななめに○が3つそろえばビンゴ。</p> <p>○ビンゴカードを埋めさせる。</p> <p>○ビンゴをさせる。</p> <p>○ビンゴした数を数える。</p> <p>○「Can you~?」を使った文をワークシートに書かせる。</p> <p>○ワークシートを集める。</p>	<p>単語は板書しながら説明する。</p> <p>数を聞いて手を挙げてもらう。</p> <p>ビンゴでどのように相手に尋ねていたか思い出させる。</p>	<p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>活動の様子</p> <p>【知識・技能】</p> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>ワークシート</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>○今回の学習内容を振りかえる。</p>	<p>can を使った尋ね方を確認する。</p> <p>次回の予習も伝える。(教科書 p.40、ノート p.44)</p>	

14. 板書計画

can を使って相手にできることを尋ねよう

「あなたは～できますか。」

〈マスに埋める単語〉

Can you ~? - Yes, I can. / No, I can't.

・ play baseball ・ swim

「あなたは何を～できますか。」

・ draw picture ・ dance

What can you~?

・ speak English ・ touch frogs

・ sing a song ・ play the piano

【御講評欄】 ※ 研究授業に来ていただきありがとうございます。

※ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。

ご氏名 ()

Let's BINGO!

☆1回目の質問☆

Can you (マスに入っている単語)? — Yes, I can. / No, I can't.

☆2回目の質問☆

What can you do? — I can. (マスに入っている単語)

Scenes ワークシート PROGRAM 3-2 (教科書 pp.40-41)

Class () No. () Name ()

2 音声を聞いて、①～④の空所に入る英語を書きましょう。



① _____ you cook Japanese food?

② Yes, I _____.

③ _____ can you make?

④ I _____ ramen.

Speak & Write 自分や友だちが話した文を英語で書いてみましょう。

(例) Can you swim? / No I can't.

★Challenge!

上のマンガを見て、この前後の対話を考え、友だちと演じてみましょう。